

ご存じですか！文化財

37

「関流九伝島田親子の墓」

市指定有形民俗文化財
平成5年12月1日指定



問合せ
大利根教育事務所
(☎0480・72・1323)



所在地 阿佐間1055 金乗院境内

を交換しないで、師弟相伝で流派を伝えました。

関流は、関孝和を始祖とし、江戸を中心とした関東における算学の中心的存在でした。「関流九伝」は関孝和から数えて10代目という意味になります。明治になって、西洋数学が取り入れられると、算学は衰退しました。

島田家は、宇一郎の死後廃絶していますが、島田親子の薫陶を受けた門弟達が、師の業績をたたえてこの墓を建てました。算学の歴史と師弟愛を物語る大切な資料です。

島田熊次郎(明治24(1891)年11月1日没)は、文政3年(1820)年9月11日阿佐間村に生まれました。長じて関流算学の師、松枝誠齋の門に入り「円周」と号し、後に古里に帰って算学塾を開いて子弟の教育にあたりました。熊次郎の長男・宇一郎(明治32年8月25日没)は、父の死後、その跡を継ぎ「円義」と号して算学を伝授しました。

算学は、天明のころ(1781〜1788年)に起こり、文化・文政のころ(1804〜1829年)盛んになり、各地に算学塾が開かれました。師匠は自分の研究



紹介者 駒井 博晃さん(阿佐間)